

8 共生社会の実現に向けた取組の推進について

平成 28 年 7 月 26 日、神奈川県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」において、多くの入所者が殺傷されるという極めて凄惨な事件が発生した。

この事件は、被告人が「障がい者はいなくなったほうがいい」といった間違った考えのもとに引き起こしたと伝えられたことから、障がい者やその家族、障がい者施設で働く職員のみならず、国民全体に、言いようもない衝撃と不安を与えた。

また事件発生後、インターネット上において、被告人の間違った考えに同調する意見も散見されたことから、社会の中で障がい者に対する差別や偏見が助長されるのではないかとといった懸念が生じた。

そこで、関東地方知事会では、このような事件が二度と起こることのないように、真の共生社会の実現に向けて、断固とした決意を持って、全力で取り組んでいくことを、平成 28 年 10 月 19 日に決議したところである。

共生社会の実現は普遍のテーマであり、国においても理念の普及を図るべきであることから、広く障がい福祉への関心を高め、理解を深めるため、障害者週間における国の広報などの取組をより一層充実することについて特段の措置を講じられたい。